News Release

日本郵船株式会社

株式会社MTI

株式会社大島造船所

寺崎電気産業株式会社

ダイハツインフィニアース株式会社

2026年11月20日

舶用発電機の省エネ設備「Hz Controllerシステム」の一般販売を開始

日本郵船株式会社（以下「日本郵船」）、株式会社MTI（以下「MTI」）、株式会社大島造船所（以下「大島造船所」）、寺崎電気産業株式会社（以下「寺崎電気」）、ダイハツインフィニアース株式会社（以下「ダイハツインフィニアース」）の５社（以下「５社」）は、共同で実証に取り組んできた舶用発電機の省エネ設備「Hz Controllerシステム」（ヘルツコントローラーシステム、以下「本システム」）について、良好な省エネ効果および安全性が確認できたことから、一般販売を開始します。共同研究の枠を超え、日本郵船以外の船主が保有する船舶にも対象を広げ、新造船への搭載と既存船へのレトロフィット（後付け導入）を進めます。

船内のポンプやモーターなど、供給電力の周波数に連動して動作する機器は、想定される厳しい条件下でも必要な性能を発揮できるように設計されているため、通常の航海では、機器の能力に余裕が生じる場合があります。本システムは、船内機器に必要な性能を確保しながら発電機の周波数を下げることで、消費電力と発電機の燃料消費量の削減を図るものです。

具体的には、船級ルールで定める範囲内で、船内の状況に応じて常用周波数とそれより低い省エネ周波数を切り替えるもので、日本郵船と常石造船株式会社の共同特許である発電機周波数制御技術（特許第6238600号）を活用しています。実証試験では、発電機の燃料消費量を通常の周波数で運転した場合と比較して約10%の削減効果が確認されました。その後、導入実績船を増やしながら検証を進めた結果、同程度の削減効果を確認しています。なお、削減効果は船種や運航・機器の使用状況などによって異なります。

一般販売にあたり、寺崎電気がシステムの設計・供給を担い、ダイハツインフィニアースは、本システムを適用できる発電機用エンジンの機種ラインナップの拡充を進めます。また、５社は、これまでの研究開発、船舶への搭載、運航および検証を通じて得た知見を活用し、本システムの導入の支援、普及を通じて、船舶の省エネルギー化と環境負荷の低減に取り組みます。

以 上

問い合わせ窓口

<寺崎電気産業株式会社>

問い合わせ先：海洋営業部　東京営業所　　電話(03)5644-0150

<ダイハツインフィニアース株式会社>

問い合わせ先：国内舶用営業部　　電話(06)6454-2393

各社概要

<日本郵船株式会社>

本社：〒100-0005 東京都千代田区丸の内２-３-２ 郵船ビル

代表者：代表取締役社長　曽我　貴也

ウェブサイト：https://www.nyk.com/

<株式会社MTI>

本社：〒100-0005 東京都千代田区丸の内２-３-２ 郵船ビル

代表者：代表取締役社長　鈴木　英樹

ウェブサイト：https://www.monohakobi.com/ja/

<株式会社大島造船所>

本社：〒857-2494 長崎県西海市大島町1605-１

代表者：代表取締役社長　山口　眞

ウェブサイト：https://jp.osy.co.jp/

<寺崎電気産業株式会社>

本社：〒547-0002 大阪府大阪市平野区加美東６-13-47

代表者：代表取締役 社長執行役員　寺崎　泰造

ウェブサイト：https://www.terasaki.co.jp/

<ダイハツインフィニアース株式会社>

本社：〒531-0076 大阪府大阪市北区大淀中１-１-30

梅田スカイビルタワーウエスト17・18階

代表者：代表取締役社長　堀田　佳伸

ウェブサイト：https://www.d-infi.com/